

(表紙)

運河・水辺活用による東京湾岸地域でのコミュニティづくり

豊洲地区運河ルネサンス協議会

東京都江東区豊洲地区

豊洲地区運河ルネサンス協議会

課題

- 再開発でタワーマンションや巨大な商業施設、オフィスビルが建ち並ぶまち豊洲。
→一般的に「コミュニティ形成」は難しい。
- 遊歩道などに整備されただけの運河・水辺を、人々の憩いの場（真の意味でのコミュニティ空間）、にぎわいの場にしたい。

特色・優れている点

- 運河・水辺を活用するイベント「船カフェ」「豊洲水彩まつり」を毎年開催することで、住民の**まちへの愛着を高める**とともに、住民を中心とする**コミュニティ形成の核**となっている。
- 会員が協力し合いながら自立的に多様な活動を展開。豊洲地区の包括的な「まちづくり協議会」として機能している。
- 水辺に、にぎわいの場、憩いの場をつくりだしている。



豊洲地区運河ルネサンス協議会

背景・経緯

- 東京湾岸地域での運河・水辺活用の促進を図る(東京都、江東区)始まりは、行政の呼びかけ。
- 大学生の活動に刺激を受けて、住民が積極的に動き出す。
- 2009年3月に協議会を設立(東京都港湾局のガイドラインにもとづく)。
- 2010年に船着場が整備されたことで、本格的に活動を開始。

年・月	内容
2006年3月	運河ルネサンス豊洲地区連絡会(～2008年2月)
2007年11月	豊洲運河リバークルージング (芝浦工大学生プロジェクト)
2008年3月	豊洲地区運河ルネサンス協議会設立準備会 (～2008年9月)
2008年11月	江東水辺のまちづくりフォーラム
2009年3月	「豊洲地区運河ルネサンス協議会」設立
2009年3月	キャナルウォーク完成・開放
2009年秋	潮風の散歩道完成・開放
2010年3月	豊洲運河船着場(浮き棧橋)完成
2010年3月	江東水彩都市づくりフェスタ
2010年8月	豊洲水彩まつり(～毎年1回)
2011年4月	船カフェ(～毎年複数回開催)
2017年9月	豊洲水彩まつりを豊洲5丁目「東電堀」で開催 (以降、活動の中心を東電堀に移す)
2018年10月	豊洲市場開場
2019年3月	豊洲地区運河ルネサンス協議会の新体制開始
2019年4月	豊洲パークマネジメントJVの公園管理開始



豊洲運河リバークルージング



運河ルネサンス協議会設立



船カフェ

豊洲地区運河ルネサンス協議会

活動内容

- 豊洲水彩まつり(2010年～) 1日限り 様々なイベントあり
- 豊洲船カフェ(2011年～) 停泊する船をカフェに、徐々にイベントも同時に

活動場所

豊洲運河船着場(豊洲3丁目)



豊洲船カフェ



運河クルーズ



豊洲水彩まつり

2017年9月から 東電堀(豊洲6丁目)



豊洲船カフェ



豊洲水彩まつり



豊洲地区運河ルネサンス協議会

体制・費用・収益

- 特徴：既存の地域組織と新住民組織やNPO、企業、大学などが連携し、運河・水辺の活用を図ると共に、地域のコミュニティを形成している。
- 設立時の会員は11団体→26団体へ(2019)
- 会費：5,000円／団体
- イベントは独立採算(企業協賛金、江東区補助あり)
- 2019年 新体制へ(副会長5団体)



	分類	会員団体名	
1	住民	豊洲地区町会自治会連合会	会長代行
2		豊洲町会	
3		都営豊洲1丁目アパート自治会	
4		都営豊洲5丁目団地自治会	
5		豊洲五丁目マンション自治会	
6		アーバンドックパークシティ豊洲自治会	副会長
7	商店会	豊洲商友会協同組合	会長
8		豊洲市場商店会	
9	観光	深川観光協会	
10	企業	豊洲2・3丁目地区まちづくり協議会	監査
11		豊洲パークマネジメントJV	副会長
12		みらい21	
13	大学	学校法人 芝浦工業大学	副会長、事務局
14	小学校	豊洲北小学校PTA	
15	保育園	社会福祉法人ひまわり福祉会	
16		アスク豊洲保育園	
17		社会福祉法人 景行会 豊洲保育園	
18	漁業組合	東京都漁業協同組合連合会	
19	NPO法人	NPO法人江東区の水辺に親しむ会	副会長
20		セイラビリティ東京	
21		NPO法人 海塾	
22	舟運事業者	東京湾クルージング	副会長
23		日の丸自動車興業(株)	
24		観光汽船興業(株)	
25		東京夢の島マリーナ	
26		東京ウォータータクシー株式会社	
	協力	豊洲六丁目協力会	
		アドバイザー	
		東京海洋大学	
		東京都港湾局	
		江東区都市整備部	
		社団法人 東京港運協会	

豊洲地区運河ルネサンス協議会

成果、地域への貢献

- タワーマンション地区で、いかにコミュニティをつくるか。その先進的な取り組み。
- 巨大な都市空間の中に、ヒューマンスケールな空間と営みをつくっている。
- 地元主体の「まちづくり協議会」のモデル。
- 豊洲五丁目がマンション自治会を設立。六丁目も自治会を設立予定。



町内対抗ゴムボートレース



町会・自治会での出店



地縁を育む

